

公益社団法人 諫早市シルバー人材センター

のんのこ

第87号

公益社団法人 諫早市シルバー人材センター

〒854-0045 諫早市新道町948

電話 (0957) 24-5183

＜会員数 411名 男 307名 女 104名＞
(令和8年8月31日現在)



定時総会挨拶



理事長
西原 直之

会員の皆様におかれましては、日頃から諫早市シルバー人材センター運営にご尽力をいただき心より感謝を申し上げます。

また、当センターの事業運営に対し、市当局をはじめ関係機関、関係団体の皆様方には、多大のご支援ご協力をいただき、大変有難く心からお礼を申し上げます。

シルバー人材センターは、1970年代の急速な高齢化を背景に、定年後も働きたい高齢者の「生きがい」と「社会貢献」を目的に1975年東京都で誕生した「高齢者事業団」が原点です。

諫早市におきましては、昭和61年に設立されており、本年6月27日に設立40周年の節目を迎えることとなります。

この間、平成17年3月の諫早市他5町の大合併により、



地域も会員数も大きく拡大し、更には平成24年に一般社団法人から公益社団法人への移行を行う等により、税制上の優遇措置や行政支援の強化がなされました。

会員皆様の地道なご努力により、社会的な信用も向上し市民の皆様にあ愛されるセンター活動を続けて参る事が出来ております。

今回の表彰者は、平成18年度に入会された20年継続会員10名、平成28年度に入会された10年継続会員12名の皆様です。

表彰を受けられた方々の長年にわたる、ご功績に感謝いたしますとともに、今後も当センターの発展にご尽力いただきますようお願いを申し上げます。

げます。

令和7年度の事業実績につきましては、受注件数が1,936件で、179件の減、請負金額は、約1億9千5百21万円で、約529万円の増となっております。

令和7年度末現在の会員数は413人と令和6年度から6人の増となりました。

10月23日には、役員有志で大久保市長様、南条市議長様を訪問し、「地域社会に貢献するシルバー人材センターの決意と支援の要望」をお渡し、力強い支援のお言葉を頂いております。



市長様、議長様におかれましては大変ご多忙の中に、誠に有難うございました。

「安全就業」は、最重要課題であります。

みんなで守ろう「安全心得10カ条」を全会員に配布し、安全意識の徹底を図っておりますが、災害ゼロには至っておりません。

本年度の事故状況につきましては、傷害事故が6件、賠償事故も同じく6件となっております。

本年度も家を出てから帰るまで、徹底した安全意識のもと事故防止に努めて頂くよう重ねてお願い申し上げます。

結びに、会員の皆様方のご健康ご多幸を祈念申し上げ、ご挨拶いたします。



市長挨拶

諫早市長

大久保 潔重



公益社団法人諫早市シルバー人材センターの皆様には、日頃から日常業務や各種ボランティア活動、社会参加を通じ、安全・安心な地域社会づくりに多大なる御貢献をいただいておりますことに、深く感謝申し上げますとともに、市政の発展にご理解とご協力を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。また、設立40周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

我が国の高齢者人口が増加を続ける中、本市における令和8年8月1日現在の高齢化率は32・0％となっております。こうした超高齢社会において、貴センターが会員の皆様の就業機会の確保や社会参加、そして活力ある地域づくりに御尽力いただいていることは、誠に心強い限りです。

現在、本市では大手企業の進出や事業拡張、大規模商業施設の開業計画など、地域の発展や魅力向上につながる新たな動きが生まれています。こうし

た地域社会の変化を受け、今後、本市においては多様な雇用の創出が期待されるところであり、貴センターにおかれましても、地域の実情に応じた新たな就業機会の確保に、なお一層お取り組みいただきますようお願い申し上げます。

本市といたしましても、貴センターの安定的・持続的な運営と会員の皆様の就業機会の確保に向け、引き続き支援を行ってまいります。また、これまで培われてきた豊かな経験や知識を地域社会の中で生かしていただくことは、地域の活性化にもつながるものと期待しております。今後も、高齢者の皆様の生きがいと活力に満ちた地域社会を築くため、令和17年度を目標年度とする「第3次諫早市総合計画」のもと、将来都市像である「来てよし、住んでよし、育ててよし！輝く諫早 夢かなうまち」の実現に向けた各種施策を推進してまいります。

結びに、諫早市シルバー人材センターの今後益々のご発展と、会員の皆様のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げます、ご挨拶いたします。

令和8年度 委員会名簿

組織対策委員会	委員長	原直義	安全対策委員会	委員長	東川義範	就業対策委員会	委員長	一ノ瀬一成
	副委員長	川副繁		副委員長	松山司		副委員長	西村暢彦
	委員	西村暢彦		委員	山永薫		委員	原直義
	委員	一ノ瀬一成		委員	松山明		委員	豊田達雄
	委員	豊田達雄		委員	山崎末弘		委員	川副繁
	委員	泉孝治		委員	飛永喜好		委員	泉孝治
広報対策委員会	委員長	西尾正弘	女性事業推進委員会	委員長	浅田益代	就業適正化委員会	委員長	原直義
	副委員長	下村清敏		副委員長	平古場貴美子		副委員長	松田亮子
	委員	原田紀夫		委員	坂本三枝子		委員	一ノ瀬一成
	委員	松尾純夫		委員	川良やよい		委員	東川義範
	委員	木下浩輝		委員	久保啓子		委員	松山明
	委員	下村正利					委員	松山司
	委員	大野連					委員	竹市保彦

『諫早市シルバー人材センター事業普及啓発促進月間』

目 的

シルバー人材センター事業（以下「シルバー事業」という。）を持続的に発展させてくためには、その基盤となる「会員の拡大」が最重要課題です。このためには、以下の事項を重点として、地域の特性を生かしつつ展開することが必要です。

①シルバー人材センター（以下「センター」という。）未入会の高齢者に対して、シルバー事業を周知し入会を勧誘する。特に女性会員の拡大に重点を置いて取り組む。

②地域社会、行政機関等関係者に対して、シルバー事業の社会的意義や活動内容について理解の促進を図る。

③会員・役職員に対して、シルバー事業の社会的意義の再確認と一体感の醸成を図る。

こうした取り組みにより、シルバー事業の社会的意義、活動内容等を広く地域住民、行政機関等に理解していただくとともに、高齢者のセンターへの加入の働きかけ及び就業拡大に資するため、令和8年度も全シ協・県シ連合と連携しながら、「**シルバーの日**」を設定し、事業拡大・新規会員増に向け運動を展開し普及啓発活動を推進していきます。

二、実施期間

令和8年10月1日（木）～10月31日（土）まで

「シルバーの日」10月17日（土）

三、県下普及啓発統一スローガン

「シルバーに、任せて安心、生き生きライフ」

四、活 動

「シルバーの日」を中心に行う活動

①理事による諫早市長、諫早市議会議長へのシルバー事業に対する支援要請活動の実施
月間を通じた事業活動

①会員増強と就業機会拡大のための有機的な運動の展開

○会員一人ひとりによる一・一運動の実施

○エフエムいさはやへの会員出演によるシルバー事業のPR活動

○機関誌「のんのこ」の発行

○ホームページによるPR活動

②安全就業運動の展開

○安全対策委員会による就業先への巡回活動による安全指導の実践

③シルバー人材センター事業への市民への理解と浸透

○各地区の区長を中心に、各地区の公共施設におけるボランティア活動を地区ごとに計画し、実施する。

○広報対策委員会による「のんのこ諫早まつり2026」会場周辺におけるチラシ配布
○会員互助会主催の「会員作品展」を通して、市民へのシルバー事業の存在をPRする。

剪定班 6月29日（月）



森山ふれあい公園において、新入会員を対象に松の剪定方法などの技能講習を行いました。

女性部会「コスモス」 6月18日（木）

3年ぶりに女性部総会を開催。第2部のフレイル予防の講習会も好評でした。



交通安全講習会を実施 7月2日（木）

諫早警察署から講師をお招きした講習会では、事故を起こさないための心構えなどを学び、安全運転への再確認と理解を深めました。



会員の広場



二十年に感謝

多良見地区 下村 正利

シルバーに入会して早二十年となった。動機は仲間作りと小遣い稼ぎだったのだが、令和八年度の総会で二十年表彰を受ける事が出来た。

これまでの仕事の内容は、市道の除草の他、個人宅の草取り、各種イベントの準備、片付け、農作業等、多岐に亘る。

思い返すとこの期間、多くの仕事仲間が出来たがその分、病気等で相当数の方と別れる事となり、本当に感慨深い思いである。

本誌「のんのこ」で以前短歌を掲載させて頂いたがその中の一句

「有難や 綺麗になったと喜ばれ 体鍛えて金までもらえ」のように仕事に生きがいを感じてきたからこそ

今迄続けてこれたのだと思っている。

これから仕事仲間と楽しく作業が出来る様、健康に気を付けて頑張っていきたいです。



回想（私の離島時代）

南諫早地区 原田 紀夫

会員の皆様方こんにちは。今年の夏も毎日のように熱中症警戒アラートが発令されましたがお元気でしたか。

ここからは私が二十代の頃三年間勤務した福江市（現五島市）の属島赤島（二つの島に勤務した中の一つ）での経験談です。驚いたりびっくりしたりしないで最後まで読んで頂けたら嬉しいのです。この島は福江港から北の方角に船で約一時間程度行ったところにある非常に小さい島です。赴任前に県の人事課の人が島の概要について話されました。話の内容からそんな島があるのかとびっくりしましたが不安を抱いたまま行ってみようと決心しました。まず驚いたのは生活用水に天水（雨水）を使っていることです。もう一つは自由に使える電気がないことです。島の唯一の電気は自家発電です。日没から十一時まで（年末年始は十二時まで）点灯します。また島の必需品はマッチとロウソクで

す。十二時以降はロウソクの灯りで仕事をしたこともありました。私は音楽やニュースを聴くために携帯ラジオを準備していました。職場にも電池が必要な大きいラジオが一台置いてあります。また住民の楽しみでもある娯楽の一つとして職場にテレビ（島で唯一のテレビ）がありました。集会等に使う広い板張りの一角です。週に数回夜間に一人十円徴収（子供たちは無料）としての開放です。人気番組は時代ものや青春ドラマ、力道山全盛のプロレス等でした。開放する時は島の掲示板に番組名を書いて知らせます。徴収金額は職場の財源の一つでもあります。子供たちの教材費に使います。開放の可否は宿直者の判断です。

話題転換。ここからは水の話です。各家庭には大きな水がめやタンクが備えてあります。そこに雨樋から雨の日は雨水を流してためていきます。その雨水は生活に欠かせない貴重な水で

もあり、一滴も無駄に出来ません。洗濯や食事の準備、飲料水、風呂等に使用しますが、水をこする過器はありません。そのまま使います。家庭でも職場でも沸騰させて飲料水として使っていました。夏の真つ盛りに冷たい飲み物が欲しいなと思っても我慢です。ではビールは冷やさないで飲むのか。籠に入れてタシク内につるします。生ぬるいだけです。酒の方がましです。

食事する家（約四千元）、寝る家（忘れましたがそんなに高くはなかったと思います）、風呂に入る家（無料）、それぞれ別々ですが私は島民の人から「私の家にお風呂に入りに来て下さい。」「魚が手に入りましたので食べに来て下さい。」と呼ばれてお世話になったことが多々ありました。嬉しかったですね。こうして島の人と交流を深めていきました。寝ると耳に入るのは寄せては返す波の音ですが、こんな寂しい島で勤めるのは嫌だと言われた人もおられました。そんな島があるのかとびっくりされたでしょうが、何一つ娯楽



設備がなく水や電気に不自由した私の最初の赴任地三年間の回想です。文章にまとまりがないまま終わってしまいました。お許し下さい。忘れていました。当時の船賃は長崎港から福江港まで三等客室で五百円の時代です。今では二等や三等という言葉は宝くじで使われていますが、懐かしいそんな時代があったのか、と思い出してください。藤丸や柏丸が就航していました。椿丸も代船で就航する時もありました。船の中で食べるうどんの味は格別おいしかったのを覚えています。ついでにもう一つ書かせて下さい。乗組員さんとも顔見知りになって個室（船員室）で休ませてもらったこともありました。時々うどんを食べさせてもらいました。

後書きが長くなってしまいました。申し訳ありません。これで本当に終わりです。私のつたない文章を最後まで読んで頂きありがとうございます。



会員互助会会長

山永 薫

ご来場の皆様、こんにちは。先程の定時総会に続いての会員互助会総会と言うことで大変お疲れのこととは存じますが、今しばらくお付き合いください。挨拶に入る前に昨年も5名の方がお亡くなりになりました。謹んでお悔やみとご冥福をお祈り申し上げます。

また、全焼で家を失われた方、就業中の不慮の事故で入院・通院をされた方々には、心よりお見舞い申し上げます。

また、本日20年継続10名、10年継続12名の方々が表彰を受けられました。本当におめでとうございます。今後とも健康にはくれぐれも気をつけていただき、シルバー人材センターの発展の為に寄与していただければと思います。

さて、本日は、定時総会直後にもかかわらず、理事長様はじ

め役職員の皆様には来賓としておいでいただきました。会員を代表して厚くお礼申し上げます。ありがとうございます。

会員互助会は、2007年（平成19年）5月に設立されて20年目を迎えました。議案書では設立を2006年（平成18年）と記載していますが、間違っていました。訂正してお詫び申し上げます。ここ数年会員数は、減少傾向にありましたが、昨年度は若干ではありますが増加となりました。会員皆様の拡大に向けた「一・一運動」などの成果ではないかと思えます。

ところで、昨年も同好会の皆さんの協力で「会員作品展」を諫早図書館の展示ホールで開催することが出来ました。来場者が250名を超えましたが、会員皆さんの来場が3分の1程度だったのが残念でした。今年も秋に行なうことを考えています。会員皆様が、日頃作成されています作品を是非この「会員作品展」に出品して頂きますとともに来場して頂きますようお願い致します。

願ひ致します。

今年も昨年以上に暑い日が続きそうです。どうぞ健康にはくれぐれも気をつけて、シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立」「共同・共助」のもと、基本方針である「親睦と連帯意識の高揚及び福利厚生活動の充実」に努めつつ、交流会と同好会の活動とともに会員拡大に向けた取り組みをよろしくお願ひします。

特に6年前のコロナからのボランティア活動の中止や親睦交流を控える傾向に在り、その後この傾向からの完全回復はできていません。回復には就業を通して、会員一人一人が親睦と連帯意識を強める必要があると思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

終わりに諫早市シルバー人材センターの益々の発展と会員皆様のご健康とご多幸・ご活躍を祈念しまして私からの挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

同好会活動のご紹介

※お問い合わせは事務局 TEL24-5183 まで



囲碁同好会

- 会員数：7名
- 年会費：1,000円
- 代表者：戸塚 勝



囲碁をたのしみませんか？
知り合い作りや頭の体操に最適です。土曜の午後、小栗ふれあいセンターで地域の人たちと楽しくやっています。(棋力は問いません。) ぜひ一度見学にきてください。

【毎月第2・第4土曜日 13時～17時 小栗ふれあい会館】

旅行同好会

- 会員数：31名
- 年会費：1,000円
- 代表者：田中 教一



会員が健康の増進と会員相互の親睦を促進するため、旅行を実施しています。会員同士旅行するのも最高に楽しいです。郷土料理を堪能し、歌に踊りに時間を忘れて愉しみます。旅行が大好きな会員大歓迎です！

【年2回 1泊2日 九州内(旅行代金実費)】

卓球同好会

- 会員数：17名
- 年会費：400円
- 代表者：宮崎 茂



卓球同好会は、毎月日曜日第1・第3・第4の3回活動しております。男性10名、女性7名の17名。卓球の練習はもちろんのこと、健康の話、野菜や花作りの話題など賑やかに楽しい2時間です。シルバー会員の皆様、ぜひ私たちの同好会に入部されませんか？ 待ってまーす！

【毎月第1・第3・第4日曜日 13時～15時 小栗ふれあい会館】

カラオケ同好会

- 会員数：12名
- 年会費：月々500円
- 代表者：北村 義宣



「丁寧・ゆっくり」をモットーにした、音楽を通じた仲間との交流の場です。初心者の方の要望を取り入れた内容の音楽の唄を練習します。また2か月ごとに新曲を練習します。そして、自宅でも練習ができるように曲の入ったカセットを無償で配布しています。



【毎月第1・第3土曜日 9時～12時 西諫早ふれあい会館】

手芸同好会

- 会員数：10名
- 年会費：1,000円
- 代表者：久保 啓子



縫い物・編み物をそれぞれに習いながら、小物や色んな手芸品を作って楽しんでいます。会員同士の親睦も深まりますよ。興味のある方はぜひご参加ください。

【毎月第1・第3木曜日 13時～16時 社会福祉会館】

太極拳同好会

- 会員数：6名
- 年会費：1,000円
- 代表者：平野 節子



ゆったりとした手足の運び動きの中で、呼吸は深くなり心身の機能を高めていく太極拳です。運動の後は身体がスッキリします。一緒に楽しみませんか？

【毎月第1・第2・第4木曜日 午前中 社会福祉会館】

書道同好会

- 会員数：6名
- 年会費：1,000円 教材費：毎月600円
- 代表者：本田 紘



男女各3名の6名でスタート。活動の拠点は中央公民館で、「実用書道クラブ」として活動しています。年2回の発表会(シルバー人材センター同好会 作品展・中央公民館まつり)に作品を出品参加。

【毎月第1・第3日曜日 9時～12時 諫早市民センター】

会員募集

特に女性の方

大歓迎です

入会説明会は毎月20日(12月・1月は除く)の14時から社会福祉会館にて開催しています。諫早市内にお住まいで、元気で働く意欲のあるご友人やご近所の方がいらっしゃいましたら、ぜひ入会説明会へお誘いください。

【説明会日】

10月20日(火) 11月20日(金) 2月19日(金) 3月19日(金)

事務局伝言板

要注意 熱中症に注意しましょう!

今年は九州でも初の酷暑日を記録するなど、9月に入ってから連日暑い日が続いています。就業中はこまめな水分・塩分補給や、作業や休憩中は会員同士で声かけを行うなど、熱中症対策をしっかり行いましょう。

また熱中症にかからないためには、普段の生活も大切です。睡眠・朝ごはんをしっかり食べる、体調が悪いときには無理をしないなど、自己管理も行いましょう。

熱中症対策

適切な予防をして
熱中症を防ぎましょう



冷却グッズを
活用しよう



適切な
塩分補給



適切な
冷房利用



涼しい
服にしよう



しっかり
眠ろう



こまめな
水分補給



直射日光を
避けよう



温度・湿度
に注意

就業報告書の提出は お早めに!

就業がすんだら直ちに事務局へ提出してください。月末まで就業された場合は、翌月3日までには必ず提出してください。

おくやみ

令和8年3月

南諫早地区 第2班

千草 一 さん

真津山第1地区 第2班

西岡 勝則 さん

令和8年8月

高来地区 第1班

松尾 幸子 さん

謹んでご冥福を申し上げます

編集後記

有喜地区 下村清敏 委員

令和五年～六年度は組織対策・就業対策委員を、七年～八年度は広報対策委員を仰せつかり年2回発行機関誌「のんのこ」の編集会議、委員全員一致団結して、会員より募集分の原稿の校正など二回～三回色々と話し合い、配布前準備。

街頭キャンペーンは九月の「のんのこ諫早まつり」にてチラシ配布予定。会員の皆さん、熱中症に注意され、車の運転はハンドルを握ったら精神を集中し、ルールに従い目配り気配り、家族の元へ。会員の皆さん、原稿をお待ちしています。



表紙の写真は、シルバー人材センター会員が撮影したものです。

令和八年九月 発行